

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（勝山小学校）

実施日時：平成 26 年 7 月 2 日（水）19：00～20：45

参加者数：93 人

出席者：（生野区役所）清野区長、竹沢副区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）浅井勝山小学校長、椿本勝山中学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 統廃合の話ばかりされているが、小中一貫校にするという考え方もあるのか。

（区長）

皆さんの話し合いの中で小中一貫校が良いということになればそれも視野に入れて検討していきます。

- 2 廃校になる小学校等今の時点で決めていることはないのか。

（区長）

ブロック単位の意見交換会で統合案のたたき台を提示させていただくまでは白紙の状態です。

- 3 防災の観点からも学校はなくなってほしくない。

（区長）

避難場所については、現在でも小学校だけでは区民の皆さん全員はとても受け入れられないので、近隣の学校にもお願いに行っています。跡地についても、廃校後も避難場所として使えるような形も考えたいと思います。

- 4 ブロックを考えた時に勝山小学校は場所が悪い。特別区の設置が進めばまた統廃合となることも考えられるのではないのか。

統廃合する学校はどういう基準で判断するのか。

（区長）

進学先中学校の関係で勝山小学校はAブロックに入っていますが、Bブロックで考えたいという話があれば対応したいと思います。

現在、各行政区でそれぞれ同じように学校配置の見直しを検討していますが、将来的に大阪市がどのような形の自治体になったとしても、その自治体で特段の合意がされない限りは、現在行政区単位で取り組んでいる施策は尊重されるものと考えています。

- 5 Aブロックは5校を2校にすると決めたという理解でよいか。

（区長）

資料に記載しているのはあくまで目安であり、5校を2校にすると決めたわけではありません。

6 1学年2学級以上必要な理由がわからない。

(区長)

具体的に言うと運動会では児童がずっと競技に出続けなければならない、組み体操ができないとか、音楽で器楽合奏ができない等教育活動の幅が狭くなるということや、クラス替えができないため児童の人間関係が固定化してしまう、という問題も指摘されています。また、教員の数も少ないので校務の負担が重くなり、指導研究や子ども達と触れあうために割ける時間が限られてしまうということも課題です。

7 統廃合で学校が残っていく具体的な条件を教えてください。

(川口課長)

教育委員会で決まっているのは、各区で学校配置を考えてくださいということです。

今年3月に教育委員会がとりまとめた学校配置の適正化の推進のための指針では、住民のみなさんの声を聞きつつ跡地の活用を話し合うこととされています。

生野区ではどこの学校を残す、という事を決めているわけではありません。

(区長)

この学校を残しますというような考え方では進まないのでブロック全体で考えていきたいと考えています。

統廃合の進め方に関する質問・意見

8 何年くらいで統廃合されるのか。

(区長)

最短のモデルスケジュールで西側エリアを4年間かけて実施することとしています。統廃合にあたっては、なるべく早くに具体案を提示させていただき、その上で子どもや地域が新しい環境に円滑に移行していただけるよう統合の準備のために時間を十分に確保したいと考えています。

9 ブロック意見交換会での意見は、どれだけ反映されるのか。また、そこに居る人だけの意見しか聞けないので責任が重すぎるのではないかと。

(区長)

ブロック意見交換会の内容を踏まえ、区長が一定の案を取りまとめます。その後、教育委員会の議決を経て市会で議決されることにより市としての意思決定がなされます。

また、跡地の活用については、売却という選択肢だけでなく、防災の観点などもあるので今まで以上に地域と丁寧に話し合いながら決定していきたいと思っております。

10 学校の統廃合にあたっては、児童数だけでなく地域活動の熱心さを見てほしい。

11 勝山小学校は校区が縦に長いですが、校区を分断して統廃合を進める事もあるのか。

(区長)

保護者や地域の合意が得られるのであれば分割することも可能です。通学の安全の課題については、通学距離の短さによる指定校変更制度を導入します。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

なし

その他の質問・意見

12 この説明会は、区民に説明したという既成事実を作るためのものなのか確認したい。

(区長)

説明会としてはこれまでも教育フォーラムという形で実施したり出前講座を実施したりしてきました。生野区の場合、歴史が浅い学校でも40年以上経っていて伝統があるので、今回は子どもを第一に考える話し合いに参加してほしいという趣旨で説明を行っています。

13 天王寺区に住んでいるが、説明会のお知らせが来ていない。

(区長)

生野区広報紙『広報いくの』、町会、区内の小学校・中学校・幼稚園・保育所を通じてお知らせしていますが、学校配置の見直しは各行政区ごとに行っているため、他区では広報していません。

14 今日の段階では統廃合については何も決まっていないということか。

(区長)

これまでは、児童数が120人を下回った学校から順に統廃合していくという考えでしたが、地域住民の方の意向を無視して話を進められないので、保護者をはじめ皆さんで話し合っていてそこで理解を得ながら進めたいということです。

15 災害の際、勝山地域は上町台地にも近く津波にも強いということも考慮してほしい。

(区長)

生野区では津波の心配はあまりないので、南海トラフの地震による津波よりも上町断層の地震の方が怖いという状況です。一方ゲリラ豪雨で浸水する可能性が高い地域もあるので、避難場所等はそういった観点でも考えていきたいと思えます。

16 生野区は子どもの数が少ないが、天王寺区には子どもが多いので、そこに住んでいる子どもをこちらに通学させることはできないのか。

(川口課長)

学校配置の取組は、各行政区内で行うことになっています。

(区長)

小中一貫校になれば大阪市全体から通学することができることになっています。

- 17 今まで統廃合してきた学校の事例として、統廃合のデメリットを教えてください。

(川口課長)

通学距離が長くなった例や、いったん減った児童数が増加に転じて教室が足りなくなっているという例があります。

- 18 他地域から勝山小学校区に通学できるような施策はしていないのか。

(区長)

まちづくりという観点では、生野南部事業のような面開発もやっていますが、生野南部事業で市営住宅を建てても元から住んでいた人しか住めない等の制約があったりするので、長屋の改修を後押しするような取組も進めています。

ただ、人口はすぐには増えませんし、小学校の児童数を見て引っ越す地域を決めるというご意見もありました。いったん児童数が減ると加速度的に児童数が減るということも心配されます。

逆に、統廃合によってあまりに規模の大きな学校を作ると、まちづくりが進んで人が戻ってきた時に子どもを収容できない等対応できなくなる恐れがあるので、安定的に1学年2学級を維持できる程度の規模の学校にしていきたいと考えています。

- 19 どの学校をなくすかの構想がないまま説明をしているのであれば無意味ではないか。

(区長)

どの学校をなくすという発想ではなく、区全体のよりよい教育環境を整えるために、ブロック単位で皆さん一緒に学校のあり方を考えていきたいと考えています。統廃合の際に今の学校がある場所と別の土地に学校を作るということも考えられます。再編の案はいずれ区役所から提示しなければならぬと思っており、皆さんの話が進んできた段階でいくつか案を提示して話をした上で、最終的な案を提示するという事も考えられます。なるべく早くに具体案を提示させていただき、その上で子どもや地域が新しい環境に円滑に移行していただけるよう統廃合の準備のために時間を十分に確保したいと考えています。

- 20 もっと積極的に周知をしてもっと若い保護者の意見を聞いてほしい。

(区長)

若い世代に広く区を取組を知ってもらうため、地域まちづくり協議会のホームページでの広報もお願いしていきたいと思えます。

- 21 校舎の耐震改修は、子どもが逃げるための時間を確保するものなので早急にやってほしい。

(区長)

勝山小学校の校舎は耐震性があると確認されています(※)。新校舎の建設が止まっていますが、大阪市全体の税収が落ち込んでいる中で大きい規模の学校を優先せざるを得ないという状況です。

(※) 説明会后に事実確認を行ったところ、勝山小学校の校舎は耐震改修の必要があるため、平成26・27年度に耐震改修工事を実施する予定です。お詫びして訂正いたします。